

# 子どもの国づくりだより

vol.5 平成26年10月発行

「子どもの国づくり推進協定」を通じ脱少子化県民運動に参加している皆さまの取り組み等を紹介します。



## ベビーウェーブ・アクション会員が一体となって取り組みました！

脱少子化ウェーブを巻き起こす行動県民会議（ベビーウェーブ・アクション）では、会員の一体的な活動として、7月26日、27日に県立武道館で開催された子育て応援イベント「子育て応援団すこやかあきた2014」にブース出展し、県民運動をPRしました。

参加した会員は、国際教養大学学生会、秋田県立大学システム科学技術学部学生自治会、秋田公立美術大学学生会、聖霊女子短期大学学友会の4団体。2日間、延べ27名の学生たちが、来場した子どもたちと一緒にポストカード作りや絵本作りをしたほか、子育て応援講座を手伝ったり、保護者へ少子化対策や子育て支援に関するチラシなどを配布し、脱少子化を呼びかけました。



たくさん子どもたちでにぎわった県ブース



(左)子育て応援講座のアシスタントとして子どもたちとふれあいました。  
(中央)秋田公立美大生は特技を生かし、似顔絵のプレゼントも。  
(右)教養大生は自作カードによるミニ英語教室を開催。

### 参加会員の感想

- 子どもたちのみならず、子ども連れの大人、他大学生など多くの人たちと触れ合ったり、様々な経験と勉強をさせていただきました。このようなイベントに大学生にも、ぜひ足を運んでもらい、今のうちから子育てのための知識を身につけてほしいと感じました。（県立大学システム科学技術学部学生自治会）
- お子さんが塗り絵を完成させたり、私たちの発音を真似し、英単語を読み上げたりする姿を見つめる親御さんたちの笑顔を見て、私たちが幸せな家庭を築きたいという将来に対する明るいビジョンを持つことができました。（国際教養大学学生会）

ベビーウェーブ・アクションとは・・・

行政、経済界、マスコミや子育て支援団体などの65団体で構成され、それぞれの立場から少子化克服のための活動に取り組んでいます。また、「あきたの脱少子化県民運動」の通称でもあります。

## ベビーウェーブ・アクション会員から

### 株式会社 秋田放送

子どもを産み育てやすい職場環境をつくることは時代の急務です。少子化が進む秋田県に事業基盤を置く当社にとっては、地域への企業責任として取り組まなければならない大切なテーマと考えています。そのために当社では仕事と子育ての相談窓口を設置、当社規定をまとめた「子育て・介護のしおり」の作成をするなど、仕事と子育ての両立支援の取り組みを行っています。



あきた子育て応援企業表彰を受賞

最近では女性社員のみならず男性社員の育児休業取得の推進を図っています。平成22年に「お父さんも育児促進事業研修会」を開催し、その年の12月に当社として初の男性育児休業取得者が誕生しました。その後も子が誕生した男性社員に育児休業の説明、取得の促進など地道な働きかけをした結果、これまでに延べ10名の男性社員が育児休業を取得しました。

今年の8月には、これまでの取り組みが認められ、あきた子育て応援企業として表彰されました。

今後も子育て応援企業の名に恥じぬよう、より一層社員が子どもを産み、育てやすい職場環境の向上を目指していきます。

### 子ども・子育て支援推進北秋田地区協議会

当協議会が実施した、子育て応援列車「なかよしぽっぽ号」をご紹介します。

秋田内陸線を利用したこのイベントは、平成16年度から実施しており、11回目の今年は8月31日に開催しました。毎年多数の応募があり、今年も親子合わせて100名の方に参加していただきました。鷹巣駅から阿仁合駅まで内陸線で移動しましたが、車内では、保育士さんと一緒に手遊びや歌遊びをしたり、沿線の田んぼアートを鑑賞しながら1時間の列車の旅を楽しみました。



阿仁合のイベント会場では、親子でお弁当を囲み、指輪やバルーンアートなど、ものづくりを楽しんだ後、「北秋田ドラムサークル」の皆さんといろいろな太鼓を使って遊んだり、音楽療法士の先生が奏でる心地よい音色を感じながら楽しい時間を過ごしました。元気いっぱい走り回った子どもたちは、帰りの車内では“ぐっすり”。乗車したお友達みんなが笑顔になれる、それが「なかよしぽっぽ号」です。

## こんにちは!あきた結婚支援センターです(第5回)

### 会員登録制のマッチング(お見合い)システムの特徴

あきた結婚支援センターでは、パソコンを使った「希望のパートナー」の検索システムを導入しております。

このシステムは、双方の希望条件が合った相手の情報を閲覧できるのが特徴で、年齢、居住地から職業や結婚歴の有無など、基礎的な情報のほか、人によっては身長や趣味などのプロフィールまで記載されています。ただし、氏名や住所など個人が特定されるものは除かれています。



このシステムを利用するには、まず会員登録(自分と希望の相手の条件の登録)が必要ですが、一度登録すれば3年間利用でき、希望条件は随時変更可能です。

まずは、自分の希望に合う人を探すことから始まり、後はお互いの気持ちでマッチングや交際へと進んでいきますので、気軽に利用できます。

相談専用ダイヤル 0800-800-0413

## ● 子どもの国づくり推進協定締結団体から ●

### わいわいひろば

ファンド  
助成団体

能代おやこ劇場

能代おやこ劇場では、少子化対策応援ファンドの助成を受けて、毎月1回「わいわいひろば」を開催しています。子育て中の親子だけでなくいろいろな世代が参加して、一緒にお昼ご飯を作って食べたり遊んだり、時々学習会を開いたりしています。9月6日は防災月間ということで、ダンボールやブルーシートを使っての避難所づくりや非常食づくりの体験をしました。



同世代、あるいはインターネットの交流に偏りがちな若いお母さん達に、子どもと一緒に楽しめる体験の場や息抜きの場を提供することで、子育ての楽しさを実感してもらおうとともに、子育てとあまり関わりのない世代を巻き込み「地域で子どもを育てる」という意識を育むことが、少子化対策につながるのではと思っています。

### 親子で遊ぼう！学ぼう！

あきたイクメンネットワーク

あきたイクメンネットワークは、ママにフリータイムを作ろう＆親子の絆を深めよう、をテーマに秋田市で活動しているパパサークルです。

毎月1回、たった2時間だけですが外で遊ぶ時は畑で野菜を育てたり水遊びをしたり、室内の時は楽器体験や料理や工作などを行っています。

基本的にお父さんとお子さんで参加をしてもらいますが、やっぱり楽しいからママもついてきちゃいます。でも家族みんなで楽しい時間を過ごせればよいのでそれはそれでOKですし、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に参加してもOKですよ。

僕らと一緒に子育て、子どもとの遊びを楽しみましょう！



あきたイクメンネットワーク  
<http://oyako-kizuna.com/>

### 子どもお仕事参観日

ファンド  
助成団体

株式会社 最上田組

弊社では、平成24年7月に子どもの国づくり推進協定を結び、社員の定着、子育てのための休暇の取りやすい環境づくりに取り組んでおります。

去る8月2日、「子どもお仕事参観日」を実施しました。子ども9名が参加し、真剣な眼差しで現場の説明を受け、お父さんやおじいちゃんと一緒に、バックホウやブルドーザー、不整地運搬車に乗り作業現場を体験しました。家庭では見られないお父さんたちの“カッコイイ姿”は、子どもたちや一緒に参加した家族に大好評でした。今後も継続して開催したいと思います。

現時点で育児休業を取得している社員はおりませんが、会社全体で「イクメン」社員の仕事をカバーし、働きやすい職場づくりに努めたいと思います。



現場で説明を聞きました

## 秋田県社会保険労務士会から（第5回）

### ～ 子育てパパの両立支援サポート ～

まずお伝えしたいのは、私は3歳と6ヶ月の二人の娘を持つ父親で、育児真只中であるということです。そんな私が企業の両立支援のサポートをしていく中で感じたことを、少しお伝えしたいと思います。

私と妻は現在二人の娘を育てていますが（メインは妻です）、「育児という仕事は忙しい！」というのが私の感想です。授乳やおむつ交換は24時間体制でその他にもやることは山積みです。その状況に対し周りが出来ること、それは理解し思いやることではないでしょうか。誰しも幼い時はあり、周りの大人に育ててもらった時期はあるはず。そして、大人になれば親になり育児をすることもあるはず。そこを理解し少しだけ寛容になることが、秋田という郷土を後世に残すために今必要なのではないのでしょうか。

私は企業の経営支援をしておりますが、気持ちの面で繋がっている組織は本当に強いです。「良いチームだな」と思える企業に何度か出会ってきましたが、秋田に良いチームがもっと増えてほしいと願いながら今後も活動していこうと思います。

（社会保険労務士 佐々木 尚美）

# 県からのお知らせ

## ● ウェブサイト「かぞくZOKU+ZOKU」をご覧ください ●

秋田でかぞくなる。愛するかぞくが増える。かぞくの幸せぞくぞく広がる。

かぞく ZOKU+ZOKU

Search...

プライバシーポリシー リンク



結婚、妊娠・出産、子育てに関する情報を発信するウェブサイト「かぞくZOKU+ZOKU」。結婚を考えている方や妊娠中の方、子育て中の方などに向けて、県や市町村、企業・団体のさまざまな支援制度や、実際に制度を活用している方の声などを紹介しています。

また、「ZOKU+ZOKUミニシアター」では、「秋田で結婚！応援事業」のテレビCMやテレビドラマなどの動画も配信中。ぜひご覧ください。

あきた かぞく

検索

## ● 少子化対策テレビ番組を放送します ●

「子どもの国秋田を目指して！」(4回シリーズ)

県内ケーブルテレビで、1回の番組を5日間以上、また1日のうちに繰り返して放送します。

＜秋田ケーブルテレビ＞10/20(月)スタート～12月

＜大館ケーブルテレビ＞11月～H27. 1月

＜由利本荘市CATVセンター＞11月～H27. 1月

※放送終了後、ウェブサイト(ベビーウェーブ・アクション)で動画配信します。

## ● 統計・データ ●

平成25年人口動態統計(確定)より

◇出生数 6,177人

(平成24年の6,543人より366人の減少)

◇合計特殊出生率(1人の女性が一生涯に生む子どもの数に相当) 1.35

(平成24年の1.37より0.02ポイントの減少)

◇婚姻数 3,865組

(平成24年の4,020組より155組の減少)

## ● 行動宣言を实践しましょう ●

「ベビーウェーブ・アクション」行動宣言の冊子を配布しているほか、ウェブサイトでもご覧いただけます。行動宣言に加え、取り組みの具体例も掲載していますので、少子化克服のために、ともに行動宣言を实践していきましょう！



## ● 子どもの国づくり推進協定 ●



脱少子化の行動の輪を一緒に広げて行きましょう！

◇ 「子どもの国づくりだより」に関するご意見、ご感想などを事務局までお寄せください。

◇ 皆さまの取り組みなどを事務局までお知らせください。

＜発行＞ **ベビーウェーブ・アクション事務局** (秋田県企画振興部少子化対策局)

TEL 018-860-1248 FAX 018-860-3871 E-mail shoushika@pref.akita.lg.jp

秋田県少子化対策総合ウェブサイト ベビーウェーブ・アクション

ベビーウェーブ

検索